

仲道 郁代 クラシックはじめての一步

シナリオ・構成
浦久 俊彦
Toshihiko Urahisa

しらかわホールでのオリジナルコンサートとしてスタートした「仲道郁代 クラシックはじめての一步」

これまでに類のない「聴いて・見て・体験して・感動する」コンサートとして、みなさまから絶大な反響を頂いてまいりました。第5回は、フランス近代音楽の巨匠、ドビュッシー&ラヴェルです。パリ在住のフルート界の若きホープ、瀬尾和紀さんをゲストに迎え、甘く、漂うようなフルートの音色とともにお届けいたします。「ただの名曲コンサートでしょ?」とお思いのあなたも眼からウロコ?間違いなしの「音楽体験コンサート」に、ぜひお出掛けください。



①文献資料の山に埋もれ、シナリオ準備中の制作者。本番で4~50枚使用するために、300枚以上のスライド画像が海外から集められます。

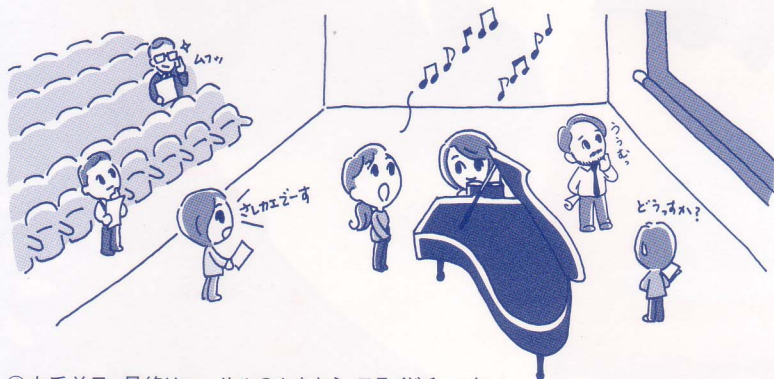


②約半年前、仲道さんと制作者との第1回目のミーティング。演奏曲目と基本的な骨格が話し合われます。

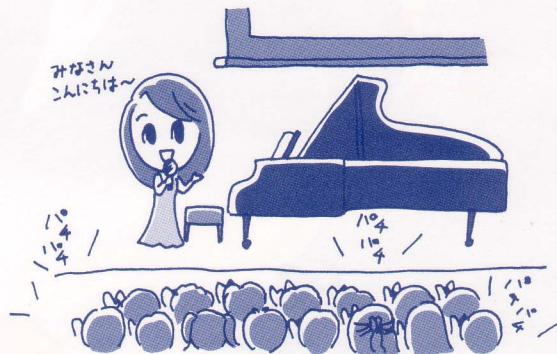


③演奏旅行で全国を飛び回る仲道さん。わかりやすいトークのために、移動中も準備が欠かせません。

「はじめての一步」はこうして生まれる ~メイキング・オブ・はじめての一步~



④本番前日。最終リハーサルのかたわら、スライドチェック音響調整など、スタッフも大忙しです。



⑤いよいよ本番。みなさまの拍手に迎えられて「はじめての一步」の幕が上がります。

Profile



仲道 郁代
Ikuyo Nakamichi (Piano)

大学1年在学中に、第51回日本音楽コンクール第1位、あわせて増沢賞を受賞。これまでに国内外のオーケストラ、国際的な指揮者、アーティストとの共演、サントパテルブルク、ベルリン・フィルハーモニーホールでのコンチェルトデビュー、カーネギーホールでのリサイタル等、海外でのキャリアも確実に築いている。リサイタルを日本各地で行う他、クラシックファンを広げたいとの想いから生まれた啓蒙プログラム「仲道郁代のゴメン!遊ばせクラシック」、未就学児(3歳以上)を対象に好評を得た「星のどうぶつたち」の2作目「スライドとおはなしでつづる動物たちの詩“光のこどもたち”」が2004年5月からスタートし、それぞれ個性豊かなプロジェクトを提供している。また近年では「ベートーヴェン・ピアノ・ソナタ全曲演奏」の真摯な取り組みと高い音楽性が評価され、2002年6月より彩の国さいたま芸術劇場にて、4年間全12回に亘りベートーヴェンのピアノソナタ全曲を諸井誠氏と解説しながら演奏する、という画期的なシリーズに取り組み、また同時に収録もしている。CDはBMGファンハウスから全11枚リリース予定で、現在5枚リリース中。そのすべては「レコード芸術」特撰盤として紹介され、高い評価を得ている。

仲道郁代オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>



瀬尾 和紀
Kazunori SEO (Flüte)

1974年、福岡県北九州市出身。91年に渡仏、95年にパリ国立高等音楽院に首席で入学、故アラン・マリオン氏に師事する。98年にフルート科を審査員満場一致のブルミエ・プリ(1等賞)を得て卒業。卒業後は大学院課程に在籍し、オーボエのモーリス・ブルグの下で研鑽を積む。1998年<第5回ジャン・ピエール・ランバル国際フルート・コンクール>にて第2位グラン・プリ(1位なし)を受賞、他ヨーロッパにおける数多くのコンクールで優勝、上位入賞を果たす。また日本においても<第8回日本フルート・コンベンション・コンクール>優勝等、輝かしい成績を収めている。現在はフランスと日本を行き来しながら活動、多数の著名な演奏家、オーケストラと共演する他、フランスフルートでの「ヨーロッパ・フルート・フェスティバル」等、フェスティバルへの出演も数多い。99年京都芸術祭賞、2000年北九州市民文化賞、2004年福岡県文化賞を受賞。CDは2000年NAXOSより「ホフマン/フルート協奏曲集」(世界初録音)、2001年7月にはワーナー・ミュージック・ジャパンより「シラクス ~フランス近代作品集」が、04年10月にはあらたに「超絶技巧フルート協奏曲集」がリリースされ好評を博した。

